

# 平成24年度事業報告

## はじめに

平成24年度は、当連盟が公益社団法人として、再スタートした年となった。

京都府の観光状況については、一部地域において有名社寺等の修復などによる影響により、観光客が減ったという状況があるものの、京都総合観光案内所の平成24年度利用者数で見ると、全体として前年度比1割強増加している。また、外国人利用者数についても、前年度比7割強の増となり、東日本大震災前の平成22年度の水準まで戻ったと言える。

当連盟では、京都総合観光案内所を府域情報の発信拠点として、府域の企画展示やパンフレット配架、桜と紅葉情報の掲示を行うなど、最大限活用し誘客に努めた。

連盟ホームページ「京都府観光ガイド」においては、3,500件以上の観光情報をデータベース登録し、日本語だけでなく英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語でも情報を発信した。加えてその時々の特ピックスについても新着情報として随時公開し、国内向けには1年間に214件の発信を行った。

また、観光雑誌などのメディアに対して府域情報の掲載依頼などを行い、府域情報の発信に努めた。

その他、広域観光事業として、大河ドラマ誘致推進事業、TANTAN ロングライド事業などとの連携や、首都圏エージェントを対象とした観光プロモーション会議・現地視察会などを実施した。

当連盟では、「観光は人」を原点に、新たな人材育成の展開も必要と考え、平成20年度から開催してきた京都観光未来塾について、平成24年度で全プログラムを終了するとともに、当塾生OBネットワークや府内観光ボランティアガイド団体との連携を図った。

## 1 組織活動の強化

会員の増減については、会員登録の変更が生じたが、会員数としては前年度とほぼ同数となった。

### (1) 会員の異動状況

- ◆ 平成24年4月1日現在の会員数 293 会員
- ◆ 平成24年度中の異動状況
  - 入会 4 会員
  - 退会 5 会員
- ◆ 平成25年3月31日現在の会員数 292 会員

### (2) 理事会及び総会の開催

理事会（第1回） 平成24年5月9日 於：京都タワーホテル  
（理事17名、監事1名出席）

総会 平成24年6月6日 於：京都タワーホテル

(会員 234 名出席、委任状 148 名含む。)

理事会 (第 2 回) 平成 25 年 3 月 27 日 於: 京都タワーホテル

(理事 14 名、監事 3 名出席)

### (3) 関係機関・団体等との連携

各種委員会等への参画をはじめ、関係機関・団体等との連携のもとに観光関連業界の振興と発展に努めた。

(注) 参画各種委員会等は別紙参照

## 2 観光情報発信の強化

### (1) 京都総合観光案内所 (京なび) での情報発信等

京都府と京都市が共同で設置し、当連盟も参画の「京都総合観光案内所運営協議会」により運営している「京都総合観光案内所」(京都駅ビル内)に、当連盟嘱託職員が毎日 1 名勤務し、京都府域の観光案内を実施するとともに、観光情報の提供等により府域観光地への誘客促進に努めた。

● 京都総合観光案内所相談件数実績 (電話相談件数除く)

期 間	日本人	外国人	合 計
24年度 (4月1日~3月31日)	610,656人	233,027人	843,683人
23年度 (4月1日~3月31日)	604,054人	137,519人	741,573人

### (2) 丹後観光情報センターの運営

丹後観光情報センター (KTR 天橋立駅内) は、来訪者に役立つ観光情報の収集に努め、案内窓口の立地条件をいかして、丹後を中心に観光情報を提供するとともに、来訪者及び電話等による各種問合せに対応した。

24年度各種問合せ件数			
来訪者数 (人)	電 話 (件)	合 計 (件)	前年度合計 (件)
28,298	2,937	31,235	25,407

### (3) 観光だよりの発行

市内の観光関連行催 (祭) 事情報を各市町村等の協力により「観光だより」(年 4 回各 800 部作成) として取りまとめ、全国の観光関係事業者や報道機関等へ無償提供することにより観光客の増加につなげるとともに、京都総合観光案内所等において販売した。

### (4) 観光情報の発信

観光情報提供システムのデータ更新を図り、連盟ホームページにより情報を発信するとともに、英語、中国語 (簡体字・繁体字)、韓国語による情報発信を行った。

○ ホームページアクセス数 (24 年度)

訪問者数 1,114,800 人 (1 日当たり 3,054 人)

ページビュー数 13,848,122 件 (1 日当たり 37,940 件、1 件当たり 12.4PV)

### (5) 観光写真の整備と活用

観光写真データを整理し、旅行エージェント向けフォトライブラリを運営し、貸し出すことにより府域の観光PRに努めた。

### (6) 桜の開花情報及び紅葉情報の発信

府内各地の桜の開花情報及び紅葉情報を定期的に市町村・観光協会の協力を得て収集し、主な関係先へ送付するとともにインターネットでの情報発信を行った。また、府域の桜開花情報と紅葉情報を府市共同で京都総合観光案内所及び丹後観光情報センターに掲示し観光客の利便を図った。

区分	表示件数（内訳）	掲示期間
桜開花情報	箇所 ◆京都府49箇所 ◆京都市45箇所	平成24年3月22日～4月23日
紅葉情報	箇所 ◆京都府49箇所 ◆京都市68箇所	平成24年10月25日～12月6日

### (7) 観光情報ファイルの活用

(社)日本観光振興協会に対し府内観光情報の提供を行い、同協会の広報媒体を活用し広く情報発信を行った。

## 3 観光客誘致対策の強化

### (1) 観光宣伝媒体の作成による広報宣伝の強化

#### 「マップ京都」の配付

京都総合観光案内所窓口や物産関係団体、(社)日本観光振興協会などと連携した催事において、京都観光の案内、宣伝に活用するため、府内観光情報の提供と誘客に使用する地図「マップ京都」を配付・販売した。

### (2) 一般誘致対策の強化

#### 広域観光誘客促進事業の推進

##### ① 京都府・JR西日本観光連携協議会事業

京都府とJR西日本の連携のもと、「京都府・JR西日本観光連携協議会」(乙訓、山城、南丹の3ブロック協議会で構成)の事務局を担い、各地域が有する観光資源の宣伝・PRをより効率的・効果的に進め、JR沿線の利用促進と同地域への観光誘客を促進する目的で、「ひと足のばしてもっと京都新発見」のパンフレットと25の観光コースのマップを作成し、関係JR駅に配架するとともに当連盟のホームページにおいて掲載した。

また、平成25年2月15日から17日にかけて、関西の各府県、市とともに九州観光キャンペーン(熊本市、鹿児島市)に参加し、春の京都をPRした。

##### ② 広域観光案内連携事業(コンシェルジュ観光情報説明会)

京都市域のホテル、旅館等の宿泊施設事業者を対象として京都市に隣接する府域の市町村の観光地の魅力を紹介するため、コンシェルジュ(総合案内係)等に対する観光情報説明会を実施した。

◆ 開催日 平成 25 年 2 月 19 日

場 所 八幡市、木津川市

参加者 15 施設 20 名

### ③ 市町村広域観光推進事業

京都府域の観光魅力を紹介するため、観光関連団体等と連携し、広域エリア観光資料の作成を支援した。

◆ NHK大河ドラマ誘致推進協議会との連携

明智光秀、細川ガラシャ、細川幽斎、細川忠興ゆかりの地である府内9市町では、大河ドラマ誘致に取り組んでいるが、そのゆかりの地を案内するパンフレットの作成について支援した。

◆ 乙訓・八幡広域観光連絡協議会との連携

同協議会の「ぶらり京乙訓・八幡」のパンフレット作成について支援した。

### ④ TANTANロングライド事業との連携

自転車で丹後・中丹地域を走る TANTAN ロングライドが平成 24 年 6 月 10 日に開催され、100km と 180km の 2 コースに 957 人の参加があった。

前夜祭のご当地PRなども含め、開催運営について支援を行った。

### ⑤ 鴨川文化回廊事業との連携

鴨川文化回廊実行委員会に参画し、事業の連携を行った。

○平成 24 年 4 月 15 日 第 2 回鴨川文化回廊開催

府立植物園、北村美術館、四君子苑巡り

○平成 24 年 6 月 12 日 第 3 回鴨川文化回廊開催

「京都今昔物語」～駅からはじまるカルチャー観光～

○平成 24 年 11 月 11 日 第 4 回鴨川文化回廊開催

「宇治茶歴史街道ウォーク」～宇治茶・伏見の酒の郷を訪ねて～

### ⑥ 「京の七夕」事業との連携

京都府、京都市、京都商工会議所、京都仏教会、(公社)京都市観光協会等による実行委員会に参画し、第3回目となる24年度は、平成24年8月4日～13日において、京都ならではの七夕として、京都の夏の風物詩として定着するよう取り組んだ。

### ⑦ 京都舞鶴港国際フェリートライアル事業との連携

実行委員会に参画するとともに、平成 24 年 7 月 30 日～8 月 3 日のトライアル事業との連携を行った。

### ⑧ 世界遺産条約採択 40 周年記念事業との連携

実行委員会に参画するとともに、平成 24 年 11 月 6 日～7 日に記念事業の会場となった国立国際会館において観光紹介ブースへの出展を行い、府域のPRに努めた。

### ⑨ 臨時府域観光PRコーナーの設置

京都府と連携し、鴨川茶店(平成 24 年 4 月 14 日～15 日)、鴨川納涼(平成 24 年 8 月 4 日～5 日)に観光ブース出展を行うなど、府域観光のPRを行った。

### ⑩ 丹後海道ものがたり推進事業

丹後の知名度を高め、丹後をはじめとした京都への観光誘客を図るため、雑誌を活用し、日本側の歴史・伝統及び食を、テーマやストーリーで結んだ観光メニューの

PRを行った。

⑪ 大河ドラマ活用魅力発信事業

丹後と京の都を結んだ海と陸の道を中心に、ガラシャと光秀の道など、ストーリーで府域を紹介したPR冊子「海から始まる京への道」を作成した。

4 戦略的観光プロモーションの展開

(1)メディア連携キャンペーン事業

情報発信力の高いテレビ・ラジオの「旅番組」や「旅行雑誌」等を活用し、京都の旬の魅力を発信した。

◆ テレビ1社2本、ラジオ1社2本、雑誌等6社10本

(2)マスコミ対策事業

報道関係者等を招請し、関係市町・観光協会との連携のもと、「京都・乙訓の花と史跡を巡る」と題して、向日市、長岡京市、大山崎町の観光スポットを紹介するとともに、紙面等への観光情報の掲載を要請した。(3社掲載)

◆ 開催日 平成25年3月6日  
場 所 向日市、長岡京市、大山崎町  
参加者 6社6名

(3)京都観光プロモーション会議の開催

首都圏の旅行会社及び旅客輸送会社に対して、府域の観光関係施設や、観光資源を紹介・宣伝するため、東京で会議を、京都で現地視察説明会を開催し、京都のPRを行い、旅行商品企画への採用を要請した。

◆ 開催日 平成24年9月6日  
場 所 東京ステーションコンファレンス  
出席者 JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト、クラブツーリズム、  
JR東海、JAL、ANA 計7社 54名  
地元関係 京丹後市、舞鶴市、南丹市、亀岡市、宇治市、八幡市、京田辺市、  
木津川市の各行政、観光協会  
◆ 現地視察説明会開催日 平成24年8月23日～24日  
実施地域 八幡市、京田辺市、木津川市、宇治市  
参加者 JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト、JAL、ANA  
計5社 12名

(4)物産展・観光展等への出展

京都府及び物産関係団体と連携し、大丸京都店で開催された「第15回丹後・丹波・山城 京の味めぐり技くらべ展」会場において京都観光の普及・PRを行った。

・開催期間 平成25年1月9日～15日

また、(社)日本観光振興協会関西支部と連携して、関西観光展に出展し、京都観光の魅力をアピールした。

◆ JR鹿児島中央駅 平成24年12月1日～2日  
◆ 横浜市の新都市プラザ 平成25年2月8日～10日

## 5 国際観光振興対策の強化

### (1) 海外誘客促進事業の推進

#### ① 京滋国際観光誘客推進事業

京滋国際観光誘客推進委員会（京都府、滋賀県、（公社）びわこビジターズビューロー、当連盟）の事務局を担当するとともに、国のビジット・ジャパン地方連携事業とも連携し、各国のメディア招請等を実施した。

- ◆ 台湾、香港、韓国、シンガポールブロガーのファムトリップ（平成 24 年 8 月 8 日～13 日）
- ◆ 英文フリーマガジン「Tokyo Weekender」取材招請
- ◆ 香港及び台湾ガイドブック取材招請

#### ② 海外有カプレス関係者等招請事業

海外有カプレス関係者等招請京都委員会（京都府、京都市、（公社）京都市観光協会、（公財）京都文化交流コンベンションビューロー、当連盟）の事務局を担当するとともに、台湾など海外の有カプレス関係者等を招請し、京都取材への協力を行った。

- ◆ 招請総数 53 件  
招請社数 延べ 76 社  
招請国・地域 15 カ国・地域

### (2) インバウンド商談会への参加

国内最大規模のインバウンド商談会「VISIT JAPAN トラベルマート 2012」に（社）天橋立観光協会とともに参加し、京都観光の情報提供及びPRを行った。

- ◆ 日 時 平成 24 年 11 月 20 日～21 日  
会 場 パシフィコ横浜  
参加者 17 カ国・地域の旅行会社・メディア 281 名  
（面談先：14 カ国、32 社）

### (3) 海外ネットワークの構築及び府内へのインバウンド情報の提供

海外の旅行会社やJNTO等の協力者とのネットワークづくりに努めるとともに、そのネットワークを活用し、海外への最新観光情報の発信、パンフレットやポスター等の送付、海外の訪日旅行情報の把握等を行った。

また、当連盟会員向けに、各種インバウンド情報の提供を行った。

### (4) 香港プロモーションの実施

平成 24 年 9 月 15 日、香港において、京都府知事が京都への誘客を図るため、香港ウェディング業界と連携し、京都の和装婚礼衣装などや京都の歴史、伝統、文化を紹介した。

## 6 観光振興基盤の強化

### (1) 観光関連事業功労者等の表彰

観光振興に顕著な功績のあった観光関係者及び団体に対する表彰を行った。

表彰区分	24年度被表彰者数
観光功労者表彰	9名（知事表彰1名） （会長表彰8名）
優良従業員表彰	22名（知事表彰1名） （会長表彰21名）

### (2) 京都府観光振興連絡会議の開催

観光の活性化を検討する場を設け、関係団体の課題とノウハウを集積することにより観光団体の組織力アップと観光団体の連携促進を図るため「京都府観光振興連絡会議」を開催した。

◆ 開催日 平成 25 年 2 月 22 日

場 所 京都タワーホテル

参加者 各観光協会 13 協会

行政機関 2 町 計 24 名

### (3) 各種観光行催事後援等による普及・啓発事業

各種観光関連行催事への協賛・後援をはじめ、府内観光関連団体等と連携・協調して観光関連事業の振興を図った。（別紙平成 24 年度事業後援等承認等一覧のとおり）

## 7 京都観光を担う人材の育成

### (1) 「京都観光創造未来塾」の開催

京都観光の質を高め、府域への観光誘客の促進を図るため、京都観光の担い手となる人材を育成するセミナーとして開催した。平成 20 年度から 22 年度までを第 1 ステージとして、観光分野における個人のスキル、能力アップの講座（おもてなしの語学、ボランティア、地域リーダー、経営者セミナー）を開設した。平成 23 年度から 24 年度までを第 2 ステージとして、地域の課題解決型の実務セミナーを開設し、地域で自ら旗振りをし、地域の人を巻き込みながら中心となり活動できる人材の育成を目指した。

第 1 ステージは 3 年間で 98 講座、延べ受講者 510 名、修了者 342 名、第 2 ステージは 2 年間で 27 講座、延べ受講者 402 名、修了者 55 名を輩出した。

修了者は、地元観光案内所、ホテル、旅館、観光施設、観光広告業、地元ボランティア組織・ガイド、着地型旅行企画、各地イベントなどで活躍している。

●5月 22 日 インターネット宿泊企画商品説明会 受講 7 名

●6月 14 日～9月 20 日 地域観光コンテンツ開発セミナー 計 7 回 受講 33 名

●6月 26 日～9月 18 日 地域インバウンド人材育成セミナー 計 6 回 受講 17 名

**(2) 観光ボランティアガイド等への活動支援**

府観光ボランティアガイド団体連絡協議会（29 団体）や京都観光未来創造ネットワーク（塾生OB92 会員）の活動を支援した。

- ・ 総会、各連絡会、研修会、交流会等の開催

**8 緊急雇用創出事業**

府内の観光資源の魅力向上を図るため、緊急雇用創出事業を活用し、観光情報の収集・整理を図った。

**9 観光振興への拠出**

（社）日本観光振興協会が実施する広域観光振興事業に対する拠出を行った。